



たんけんしょうねんだん
あきんど探検少年団 入団式・第1回目活動



日時 令和2年7月26日(日) 9:00~12:00

場所 日立商工会議所

きょうだいがくけいえいがくぶ じゆんきょうじゆ よねおかせんせい しどういんほじょ らいひん
茨城キリスト教大学経営学部から 准教授の米岡先生と、指導員補助として大学生の2名、来賓

しょうがいがくしゅう さくやま しゅっせき
として、日立市教育委員会の生涯学習課長作山様が出席してくださいました。お越しいただきありがとうございました。



前列：団員の2名 

後列：左から来賓 

日立市教育委員会
生涯学習課長 作山様
事務局 商業観光課 山形
茨城キリスト教大学経済学部
准教授 米岡先生
補助員2名



指導員の米岡先生から 

入団証が授与されました！ 

今年はコロナ渦の影響で、団員が2名と少人数ではありますが、対策を十分に行い、状況を見ながら、健康・安全第一で活動を行っていきます。

これから、2月の修了証授与式まで、楽しく活動して商業について一緒に学んでいきましょう。よろしくお祈いします。🐼



入団式の様子

アイスブレイク演習



～他己紹介と十人十色ゲーム～



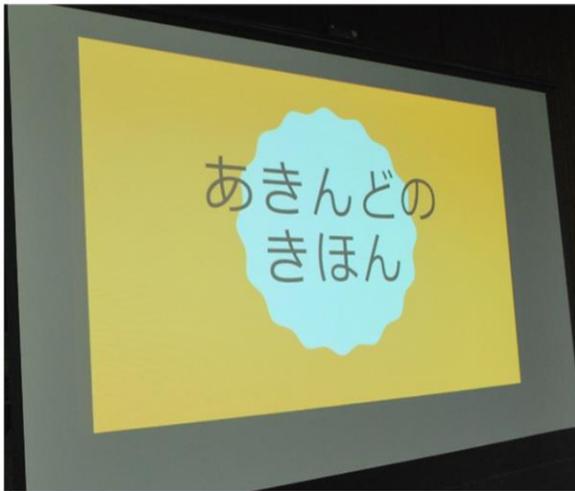
初対面の緊張をほぐすために、座学の前に、アイスブレイク演習行いました。

ペアになってお互いを紹介する、「他己紹介」と、相手の好きなものを想像して当てる「十人十色ゲーム」を行いました。最初は緊張した様子でしたが、演習を通して楽しく打ち解けることができ、団員から楽しかった！という声が聴けました。

アイスブレイク演習①他己紹介



お互いの事についてインタビューをしている様子。



基礎学習①『あきんどのきほん』

あきんどってなに？というところから、あきんどという言葉の語源について、最後にお客様への接客の言葉づかいについてみんなで意見を出し合いながら考えました。

「商（あきな）う」の「あき」は、農民たちが収穫物を売買したことから、収穫の季節となる「秋」を語源とする説が定説となっています。「商い（あきない）をする人」→「あきひと」→「あきんど」に替わり、そのうち「秋」から「商」という漢字を使うようになったそうです。ちなみに「あきんど」は大阪弁の船場

言葉らしいです。事務局の私も知らなかった話が
多く勉強になりました。

あきんどの語源の説明のあとは、接客第7用語について学習し、どんな接客は嫌か、嬉しいか、を自分がお客さんの立場になって考えた意見を出し合いながら、良い接客・悪い接客について考えました。

初めての活動でしたが、優しく気さくな大学生指導補助員の方の協力のおかげで終始和やかな雰囲気の中、入団式と座学を終えることができました。

アイスブレイク演習のゲームを通して、団員同士も楽しく打ち解けることができ、積極的にリアクションを取ったり自分の意見を出したりする活発な姿も見られました。米岡先生、指導員の大学生、ありがとうございました。😊🌸🐼🐶🐱



今後の活動も元気に頑張っていきましょう！🐼